

7/20 きたすばる星と音楽の集い2019



人類月面着陸からちょうど50年経過となるこの日に市立天文台で開催。月にまつわるイベントや恒例となったパンまき大会などが行われ、多くの市民でにぎわいました。

曇りて月は見られませんでした

7/18 名寄市防災訓練



想定最大規模の降雨(1,000年に1度の確率)を想定し、避難所での避難や名簿の記載を実施。その後人材開発センターへ集合し、防災講話や名寄市における浸水深の説明などが行われました。

防災の理解を深めていました

7/27 ペアレンツ・スクール、スポーツチャレンジ教室



名寄南小グラウンドで野球少年およそ50人が参加。講師の元プロ野球選手牧谷宇佐美さんは「キャッチボールは思いやりが大事。試合の時のように構え、呼吸の仕方に気を付けて」と指導しました。

ペアレンツ・スクールでは子どもとの関わり方を学びました

7/23 名寄市小中高 いじめ防止サミット



風連中学校で行われ、市内小中高の児童・生徒代表者や教員関係者などおよそ90人が参加。各学校で行っているいじめ防止の取り組みを発表するなど、いじめについて深く考える機会となりました。

児童・生徒・教員が一丸となっていじめ防止に取り組みます

7/28 てっし名寄まつり



天塩川曙橋下流河川敷で開催。名寄青年会議所による子ども向けイベント「ウォータースライダー」や「ウォーターサバゲー大会」などは大人気で、暑い中水遊びを楽しんでいました。また、今年初の試みでカヌー体験も実施。曙橋から大橋まで天塩川を約15分かけて下り、大人から子どもまで大自然を満喫しました。夜の部では、野外ライブで盛り上がったあと、花火が音楽に合わせて打ちあがり、真夏の夜空を鮮やかに彩りました。

野外ライブではChageeさんが会場を盛り上げました

7/30 名寄高校陸上部
ひまわりボランティア



同校陸上部20人がサンピラーパークのひまわり畑で除草作業と観光客向けのメッセージカードを作成。観光客をおもてなしするために懸命に作業していました。

交通安全啓発活動など、地域の活動を積極的にを行っています

7/28 サンプラー国体記念
第17回サマージャンプ大会



ピヤシリシャンツェで開催され、出場者は風をよむのが難しい条件のなか一人ずつ飛び、華麗なアーチ合戦を繰り上げました。女子が岩佐明香選手、男子が小林陵侑選手が1位となりました。

今回は全国から123人(女子37人・男子86人)がエントリー

8/5 子ども相撲大会



名寄相撲協会が主催し、スポーツセンターの土俵で開催。力いっぱい取組が披露され、観客から熱い声援が送られました。最後には果敢に力士と相撲を取るなど楽しみました。

力士との綱引き大会も行われました

8/2~4 藤島ミニバス少年団が
名寄市を訪問



姉妹都市の鶴岡市から、同少年団に所属する17人と引率3人が本市を訪問し、市内ミニバスケットボール少年団の子どもたちとバスケの試合などを通して友好を深めました。

市立天文台などの見学も楽しみました

8/12~13 風連ふるさとまつり



昼は市役所風連庁舎や西町公園でちびっこ広場やもちまきなどを開催。夜には風舞あんどんがスタートし、17基のあんどんが太鼓や笛の音色などを響かせながら風連市街地を練り歩きました。

12日の前夜祭では歌謡ショーや盆踊り大会が行われました

8/7 名寄市風連地区デザイン
マンホールカード配布開始



道の駅「もち米の里☆なよろ」で配付スタート。この日は第58回下水道いろいろコンクール標語部門で入選した安田みずきさん(名寄中2年)に加藤市長から感謝状が贈られました。

「水の国 守ろう未来へ 下水道」